

令和 6 年度

「運営に関する計画」

大阪市立中野小学校

令和 7 年 2 月

大阪市内立中野小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

○学級活動を3年研究し、昨年度より特別活動と枠を広げ、児童会活動・クラブ活動も加えて研究を進めてきたことにより、よりよい学級づくりだけでなくよりよい学校づくりをめざして児童が自ら考え行動する児童を育てている。「自分たちで中野小学校をよりよくしていく」という気風が受け継がれている。また、高学年のリーダーにあこがれをもち、下学年のフォロワーシップも育ってきている。

○学級活動で学んだ話型を基本としてどの学習でも「話す・聞く」ことの態度を育てることに重点を置いて指導し、話しやすい学級集団作りを心がけている。その結果、小グループでは話し合うことはできるようになっているが、全体の中では、進んで自分の意見を表現することが苦手な児童もいるのでハンドサインなどを有効に活用している。

○学力面では、大阪市小学校経年調査年度目標を達成することができなかったが標準化得点にほぼ近づいている。今年も確実に基礎・基本が定着する手立てと、教員の授業力の向上に向けて取り組んでいく。自主学習についてもいろいろな場面で保護者に伝え、子どもたちの意欲が継続できるよう学校全体で取り組んでいく。また、一人一台端末の活用場面をより増やしていくよう授業改善を行っていく。

○体力面では、男女ともにどの学年も春よりも記録を伸ばすことができ、5年生も男女とも体力合計点が全国平均を上回った。「スポーツが好き」という回答は、目標を少し下回った。これからも外遊びを推奨し、なわとび・かけ足などに取り組む週間を設けて有効な運動のあり方を模索する。体育科の授業でも準備運動に中野っ子体操を全学年で1年間通して取り組み、ラダーや運動量の多い活動を多く取り入れる。また、体の硬い児童が多いのでストレッチも今年度より加えて取り組んでいく。ゲーム領域では、学級活動で学んだことを生かして、チームでの作戦や運動について話し合い、学び合いができるよう引き続き授業改善を進めていく。

学年内で授業交換するなど学級担任だけでなくチームで子どもたちの学びを支え、担当する教科を減らすことで児童との関わりが持てる時間を増やし、働き甲斐のある職場づくりを推進する。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】****基本的な方向1 安全・安心な教育の推進**

①令和7年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」に回答する児童の割合を90%以上にする。

②年度末の校内調査において、不登校児童の割合を前年度より減少させる。

③年度末の校内調査において、前年度不登校の児童の改善の割合を増加させる。

基本的な方向2 豊かな心の育成

④令和7年度の小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和7年度末に90%以上にする。

⑤令和7年度の小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和7年度末に77%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上

⑥全国学力・学習状況調査における平均正答率の対全国比を令和 7 年度末に国語・算数とも 1.00 にする。

⑦令和 7 年度末の校内調査の「習熟度別少人数授業やグループ別授業は分かりやすい」の項目について、肯定的に答える児童の割合を 85%以上にする。

基本的な方向 5 健やかな体の育成

⑧全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を令和 7 年度末に男女とも 1.00 にする。

【学びを支える教育環境の充実】

基本的な方向 6 教育 DX の推進

⑨授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上にする。

基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり

⑩ゆとりの日については、週 1 回以上設定する。学校閉庁日は、夏季休業で 3 日以上、夏季休業期間以外の休業期間において 1 日以上設定する。

基本的な方向 8 生涯学習の支援

⑪令和 7 年度の小学校学力経年調査・校内調査の読書は好きですか」の項目について肯定的に答える児童の割合を 76%以上にする

基本的な方向 9 家庭・地域等と連携・協議した教育の推進

⑫令和 7 年度末の保護者アンケートの「学校は家庭・地域との連携を密にとっているか」の項目について、令和 3 年度より 1 ポイント増加させる。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

基本的な方向 1 安全・安心な教育の推進

○令和 6 年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」に回答する児童の割合を 85 % 以上にする。

○年度末の校内調査において、不登校児童の割合を前年度より減少させる。

○年度末の校内調査において、前年度不登校の児童の改善の割合を増加させる。

基本的な方向 2 豊かな心の育成

○令和 6 年度の小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和 6 年度末に 90 % 以上にする。

○令和 6 年度の小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80 % 以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上

○小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 45 % 以上にする。

○小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。

○小学校学力経年調査における「外国語（英語）勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80 % 以上にする。

○小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85 % 以上にする。

基本的な方向 5 健やかな体の育成

○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 65 % 以上にする。

○新体力テストの長座体前屈の記録を全学年、年 3 回実施し前回よりも記録を上回る。

【学びを支える教育環境の充実】

基本的な方向 6 教育 DX の推進

○授業日において、児童の 8 割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の 50 % 以上にする。

基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり

○年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 80 % 以上にする。

基本的な方向 8 生涯学習の支援

○令和 6 年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」の項目について肯定的に答える児童の割合を 77 % 以上にする。

基本的な方向 9 家庭・地域等と連携・協議した教育の推進

○令和 6 年度末の保護者アンケートの「学校は家庭・地域との連携を行おうとしているか」の項目について、肯定的な回答を 82 % 以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

安心・安全な教育の推進では、全市共通目標について、いじめアンケートで児童から聞き取り、その都度解決し、再発もなく至っている。不登校だった児童3人は引き続き保護者と協力しながら対応を進めているが中々登校できるところまでは至っていない。しかし、内1名はクラブ活動の時間のみ来れる日もある。新たに3名の児童が行き渋りがあり、登校できない日が増えてきているので、SCや医療機関と連携して対応を進めている。

本校の年度目標を見ると、「人の役に立つ人間になりたいですか」という項目では、目標を上回り特別活動で培ってきた成果が出ているが、「自分にはよいところがありますか」の項目で目標は達成したが、高学年の肯定的な回答の割合が低く自分に自信が持てない児童が多いことが分かった。

誰一人取り残さない学力の向上の全市共通目標について、学力経年調査の全国比を前年度より算数においては引き上げることができた。国語科においては、全学年上げることができなかったが、ほぼ標準化得点に前後した結果となった。「話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広めたりすることができていますか」では、目標を5ポイント上回り達成することができた。5年間学級活動を中心に特別活動を研究領域にしているので成果が出たのではないと思う。やはり高学年では割合が低くなっている子どもたちの中では、昨年より高い水準を考えて低く自己評価をしているのではと考える。「外国語がすきですか」の項目では、経年調査で、目標を達成できなかった。体力面では、男女ともにどの学年も春よりも記録を伸ばすことができ、5年生も男女とも体力合計点が全国平均を約1ポイント上回ったが、「スポーツが好き」という回答も目標を上回ることができた。

学びを支える教育環境の充実では、ICT機器の活用については、80%以上の児童が活用する日を50%以上にするという項目は、2.1%で目標には程遠かった。心の天気の入力もなかなか定着しないので来年度も引き続き進めていく。ゆとりの日を週に1回設定し、管理職が声をかけた結果か昨年度より平均長時間勤務が約2時間減っている。読書は、学校司書と協力して図書委員会を中心に取り組みを進め、自主学習できるような環境作りもしたので、目標を達成することができている。地域や保護者にもHPや学校だよりを通して進めてきて一定の評価を得ている。

今年度保護者による有形力の行使事案があったので、全教職員で登校時の配置の見守りを変えたり、セキュリティ強化をしたり、児童一人一人と懇談して不安を取り除くようにしてきた。防犯カメラの早急な設置をお願いしているところである。生活指導面で、引き続きいじめの早期発見、早期対応による指導と、学校の組織的な取り組みを進めることで防止も含め安全・安心な学校づくりを引き続き進めていく。その指標として、「学校が楽しい」「きまりを守っている」の項目でチェックし、フィードバックしながら改善策を講じていく。一方で、今年度成果のあったたてわり活動を来年度以降も引き続き大切にして、異学年のかかわりによる育ちを推進し、子どもたちがつくる学校をめざして自主的活動を支援していく。

学力面では、引き続き、家庭学習チェックシート（なかのマスター）の活用など、確実に基礎・基本が定着する手立てと、教員の授業力の向上に向けて取り組んでいく。自主学習についても廊下に掲示したり、学年だよりで啓発したりといろいろな場面で保護者に伝え、子どもたちの意欲が継続できるよう学校全体で取り組んでいく。また、一人一台端末の活用場面をより増やしていけるようタイピング練習やスカイメニューの発表ボードなどの活用、自宅に持ち帰り復習にデジタルドリルを積極的に活用するなど授業改善を行っていく。

体力面では、外遊びを推奨し、運動委員会を中心になわとび・かけ足などの週間や体力向上週間を設けて有効な運動のあり方を模索する。また、運動に親しみが持てるようペア学年でのドッジビー大会を今年度開催したところ子どもたちが喜んで参加していたので来年度も児童からの意見を吸いあげ、運動に親しめる機会を増やしていきたい。体育科の授業でも準備運動に中野っ子体操を全学年で1年間通して取り組み、ラダーや運動量の多い活動を多く取り入れる。ゲーム領域では、学級活動で学んだことを生かして、チームでの作戦や運動について話し合い、学び合いができるよう授業改善を進めていく。

学年内で専科だけでなく、授業交換するなど学級担任だけでなくチームで子どもたちの学びを支え、担当する教科を減らすことで児童との関わりが持てる時間を増やし、働き甲斐のある職場づくりを進めていく。

大阪市内 中野小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

| | |
|----------------------|-------------------------|
| 評価基準 A: 目標を上回って達成した | B: 目標どおりに達成した |
| C: 取り組んだが目標を達成できなかった | D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標 | 達成状況 |
|---|------|
| 【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】 ・ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 85% 以上にする。 ・ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 ・ 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 ・ 令和 6 年度の小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和 6 年度末に 90% 以上にする。 ・ 令和 6 年度の小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和 6 年度末に 78% 以上にする。 | B |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 達成状況 |
|--|------|
| 取組内容①【基本的な方向 1、安全・安心な教育の推進】 いじめについて考える日やいじめアンケートを活用していじめを許さない雰囲気づくりを進める。 | B |
| 指標 令和 6 年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」に回答する児童の割合を 85% 以上にする。 結果 81.25% | |
| 取組内容②【基本的な方向 2、豊かな心の育成】 学級活動を中心に自ら進んで物事に取り組む気持ちを育て自己の役割に対して責任をもって果たしたり、集団のために貢献したりしようとする教育を進めることで自己有用感を育てる。 | A |
| 指標 令和 6 年度の小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和 6 年度末に 90% 以上にする。 結果 95.95% | |
| 取組内容③【基本的な方向 2、豊かな心の育成】 友だちと協力して成し遂げる体験活動（異学年交流など）の機会を多くもつことによって自信をもち、自分のよさを発揮できる子どもを育てる。 | B |
| 指標 令和 6 年度の小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和 6 年度末の 78% より向上させる。 結果 81.275% | |

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取組内容①

- どんな相手に対してもやさしく接する子が多いと思う。
 - いじめや命について考える日には、学校長から全校児童に向けて話があったり、いじめアンケートを取ったりして雰囲気づくりを進めることができた。
 - 「いじめを許さない」雰囲気づくりは進めることができていると思う。
 - いじめアンケートでは、すぐに聞き取りをし、話し合いをして解決できた。
 - いじめについて考える取り組みを行うことで、いじめはいけないことだという意識は高まっていると思う。
-
- 今後も「いじめは絶対にいけない」と意識できるような指導を続ける必要がある。
 - いじめは「いじめた側」が絶対にいけないと指導しているが、まだ理解できない児童がいる。
 - いじめは仕方ないと考えている児童がいることについて指導を考えていけないといけない。

取組内容②

進捗状況平均（ 1.81 ） A…13名 B…3名

・令和6年度の小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に「最も肯定的な思う」＋「思う」と回答する児童の割合は以下の通りである。

3年 62.7%＋17.3%→100%

4年 58.3%＋38.9%→97.2%

5年 84.0%＋12.0%→96.0%

6年 57.8%＋32.8%→90.6% で、約96%で目標を大きく上回ることができた。

○係活動や当番活動などで、みんなのためにがんばっていると思える児童が、さらに学級会を通して、クラスみんなで決めたことを実践していくことの積み重ねの成果ともいえる。

○各学級で、話し合い活動や係活動など積極的に取り組み、児童会活動などにも児童が主体的に行うことができた。このような活動を通して、児童の自己有用感も高まってきている。

○高学年の姿を見て、学級での係活動や当番活動など、学級のためにがんばりたいという意識が育っている。

取組内容③

A 8人

B 7人

・81.2%で3%上回った。

・たてわり活動は計画していた行事以外にもスマルウィークやBBフェスティバルなども実施でき、異学年交流が活発に行われていた。また、児童も積極的に取り組んでいた。

・クラブ活動や委員会活動での異学年交流も活発だった。

次年度への改善点

取組内容①

- 各担任をはじめ、全教職員が「いじめはどんな理由があってもいけないこと」という考えをもち、毅然とした態度で子どもたちに指導していくことが今後もより必要だと感じた。
- 「いじめは仕方がない」と考えている児童に対するアプローチをどうするか、どんな指導をしていく必要があるかを考えていくことが課題になってくる。

取組内容②

- ・人の役に立つことは素晴らしいと思っており、そんな大人になりたいと思っているが、年齢的にまだ周りの人から手助けされないと役に立ててないと思っていたような部分もある。

取組内容③

- ・たてわり班だけでなく、全学年と交流できるような工夫が必要。
- ・高学年は引っ張る立場だけど、低学年はたてわりの中で自分らしさを発揮する場面が少なかった。
- ・委員会によって取り組みに差があった。

大阪府立 中野小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

| | | |
|------|----------------------|-------------------------|
| 評価基準 | A: 目標を上回って達成した | B: 目標どおりに達成した |
| | C: 取り組んだが目標を達成できなかった | D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標 | 達成状況 |
|--|------|
| <p>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 45%以上にする。 ・ 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。 ・ 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 77%以上にする。 ・ 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。 ・ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 65%以上にする。 ・ 新体力テストの長座体前屈を全学年、年 3 回実施し前回よりも記録を上回る。 | B |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗状況 |
|--|------|
| 取組内容①【 基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】 授業の中で、必ずペアトークや小グループでの話し合いの場を設定し、自分の考えをまとめて書いたり、発表ボードを使って発表したりして学びを深めあう。 | C |
| 指標 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 45%以上にする。結果 39.75% | |
| 取組内容②【 基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】 実態把握をし、基礎基本の反復練習や発展学習ができるよう自主学習を全学年で取り組み学び方を身に付けさせる。 | B |
| 指標 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。 4 年生 国 -1.0 算 +0.2 5 年生 国 -0.1 算 +2.1 6 年生 国 -0.1 算 +0.1 | |

| | |
|---|---|
| <p>取組内容③【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>朝の外国語活動の充実・時間の確保、授業の中でコミュニケーションが取れる活動を必ず取り入れ、話すことに慣れさせる。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 77%以上にする。結果 76.25%</p> | C |
| <p>取組内容④【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力向上】</p> <p>観察や実験を通して、生き物や化学に対する興味を持てるように、理科好きな子を育てる。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。結果 82.725%</p> | B |
| <p>取組内容⑤【基本的な方向 4 健やかな体の育成】</p> <p>体力向上に向けて体育科の授業や外遊びの工夫・改善を行う。</p> <p>授業の初めにラダーやミニハードル、中野っ子体操を取り入れ、継続して体力づくりを進める。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 65%以上にする。結果 70.75%</p> <p>・新体力テストの長座体前屈を全学年年 3 回実施し前回よりも記録を上回る。</p> | B |
| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析 | |
| <p>取組内容①</p> <p>最終評価 C が 2 名 B が 9 名 A が 5 名であった。</p> <p>○どの授業でもペアトークやグループトークを取り入れることができた。</p> <p>○ペアトークやグループトークを取り入れ、お互いの考えを伝えあうことができています。</p> <p>○発表ボードを効果的に取り入れている。</p> <p>取組内容②</p> <p>経年調査の結果は以下の通りである。</p> <p>4 年生 国 -1.0 算 +0.2</p> <p>5 年生 国 -0.1 算 +2.1</p> <p>6 年生 国 -0.1 算 +0.1</p> <p>国語が全学年とも目標に達することができなかった。</p> <p>○自主学习について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「めあて」「振り返り」を書くことで、定着してきている。 ・関心、興味のある内容から、知識を増やすことができてきた。 ・友だちや他学年のノートを見て、参考にして進めることができた。 <p>→ろうかに掲示する取り組みがよかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低学年も楽しく取り組むことができています。 <p>○反復練習について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとに、反復練習や発展問題をすることで、基礎学力の向上につながっている。 | |

- ・反復練習にナビマをしている。
- ・苦手な漢字は、リズム漢字で楽しく覚えられるように工夫している。

取組内容③

○楽しんで取り組んでいるという意見が多かった。

○指標は、3年生 92%、4年生 68.1%、5年生 93.3%、6年生 51.6%の平均は 76.2%で達成することができなかった。

取組内容④

A 8人、B 4人、C 人

・「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合が3年 89.3%、4年 86.1%、5年 78.7%、6年 68.8%、平均 82.7%で指標を達成できなかった。

- ・実験など体験学習に対して意欲的に取り組んでいる。
- ・実験することで立証されること、観察から改めて気付くことで、理科好きが育った。
- ・理科で学んだことを休み時間に教えてくれる児童が増えた。
- ・理科の授業のあと、楽しそうにしている。経年からも理解が深まっていると思う。
- ・観察や実験の活動を通して、理科が好きと答える児童が多い。
- ・より生活に生かせる授業になっている。

取組内容⑤

A 5人 B 10人 C 1人

小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合は70.7%だった。目標である65%を大きく上回ることができたが、5年生、6年生は64%と目標にとどかなかった。ラダーやミニハードルを授業に取り組みすることができた。という意見が多かった。

○長座体前屈 取り組んだ結果

2年

25.51cm → 27.88cm 2.37cm up

3年

27.26cm → 30.07cm 2.81cm up

4年

28.01cm → 32.28cm 4.27cm up

5年

32.9cm → 33.35cm 0.45cm up

6年

33.71cm → 34.67cm 0.96cm up

1学期からどの学年も、中野体操を積極的に取り入れ、アップの運動の時に柔軟を取り入れた。柔軟体操を継続的に取り入れたことにより、長座体前屈の記録を全学年伸ばすことができたと思う。来年度も継続して柔軟体操に取り組んでいくことが望ましいと考える。

次年度への改善点

取組内容①

- 目標達成ができていない。（３９．８％）
- 話し合い活動を多く取り入れているが、結果が伴っていない。残念
- 話し合いというより意見の出し合いになっている。

取組内容②

- ・もっと経年調査を意識して取り組めるとよい。
- ・まだまだ、経年調査をすることに精一杯になっている児童もいる。

取組内容③

モジュール学習での取り組みの差が見られる。取り組めていないとの回答もあった。全校で取り組める工夫が必要だと考える。

取組内容④

- ・実験観察などの準備の計画を子どもに行わせると、自ら学習した気持ちにつながる。
- 自主性・主体性・自己効力感・達成感を育む授業運営の構築
- ・生き物や科学に対する興味を持ち、観察したい実験したいという意欲を育てる必要がある。
- 魅力的な授業作り
- 一課題設定の工夫、活動の場の工夫、活動できるモノの準備、考えたくなる発問の工夫、対話を深めることのできる授業運営の在り方の工夫

大阪市立 中野小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

| | | |
|------|----------------------|-------------------------|
| 評価基準 | A: 目標を上回って達成した | B: 目標どおりに達成した |
| | C: 取り組んだが目標を達成できなかった | D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標 | 達成状況 |
|--|------|
| 【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】 ・授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50% 以上にする。 ・年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 80% 以上にする。 ・令和 6 年度の小学校学力経年調査・校内調査の読書は好きですか」の項目について肯定的に答える児童の割合を 77% 以上にする。 ・令和 6 年度末の保護者アンケートの「学校は家庭・地域との連携を行おうとしているか」の項目について、肯定的な回答 82% 以上にする。 | B |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗状況 |
|--|------|
| 取組内容①【基本的な方向 6 教育 DX の推進】 デジタル教科書やタブレット等 ICT を授業の中で多く取り入れ、観察したことや調べたこと等をまとめて発表できるようにする。 | C |
| 指標 授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50% 以上にする。 結果 2% | |
| 取組内容②【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 年次有給休暇を取得しやすい職場環境づくりに努める。 | A |
| 指標 年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 80% 以上にする。 結果 12 月末時点 85% | |
| 取組内容③【基本的な方向 8 生涯学習の支援】 本をいつも読めるようにし、図書館開放や、読み聞かせ、本の紹介、読みたい本のランキングなど子どもたちが本に興味を持てるような活動を工夫する。 | B |
| 指標 令和 6 年度の小学校学力経年調査・校内調査の読書は好きですか」の項目について肯定的に答える児童の割合を 77% 以上にする。 結果 78.3% | |
| 取組内容④【基本的な方向 9 家庭・地域等と連携・協議した教育の推進】 学校だより、ホームページ、家庭学習チェックシートなどを活用して学校の教育活動を分かりやすく伝えていく。 | A |

| | |
|--|--|
| <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度末の保護者アンケートの「学校は学校だより、ホームページ等で教育活動を分かりやすく伝えている」の項目について肯定的に回答する保護者の割合を94%以上にする。結果 98% ・令和6年度末の保護者アンケートの「学校は家庭・地域との連携を行おうとしているか」の項目について、肯定的な回答を82%以上にする。結果 94.5% | |
| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析 | |
| <p>取組内容①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年の発達段階に合わせて、デジタル教科書やタブレットを活用した授業を展開している。 <p>取組内容②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月末時点で年次有給休暇を10日以上取得した職員は85%で、指標を達成した。 <p>取組内容③</p> <p>経年調査の結果、肯定的に答える児童が</p> <p>3年…72% 4年…79.1%</p> <p>5年…82.7% 6年…79.7%</p> <p>全体 78.375%で目標を上回ることができた。校内調査の結果でも、83%となった。</p> <p>○図書館開放を毎日行っていたり本棚が見やすく整理されていたりするため、子どもたちが普段からいろいろな本に親しむことができ、肯定的な回答が多くなっている。</p> <p>○本を2冊借りられることで、いろいろな本に触れることができている。</p> <p>取組内容④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どちらも指標を大きく上回って達成している。ミマモルメも含めて、大事な情報を発信し、伝えることができている。 | |
| 次年度への改善点 | |
| <p>取組内容①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指標に関しては、達成されている学年がなかった。指標の基準を改めて周知するとともに子どもたちが「心の天気」を入力したことを日々確認するように努めていく。 <p>取組内容②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風通しのよい職場環境を引き続き作っていく。稼業中に休暇を取ることはなかなか難しいが、取得しやすい環境を作っていく。 <p>取組内容③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き図書委員会の児童や図書館司書と連携し、朝の読み聞かせや本の紹介コーナーを充実させていき、児童が本に興味を持てるように工夫していく。 ・今後も新しい本を充実させていく。また現在の学級文庫を整理して、さらに活用できるようにしていく。 <p>取組内容④</p> <p>HPの更新者が減るので、引継ぎが必要。引き続き、地域の連携も強化していく。</p> | |

